



〈滋賀の教育大綱〉
未来を拓く心豊かでたくましい人づくり
～人生100年を見据えた『共に生きる』滋賀の教育～

【学校教育目標】
郷土を愛し、心豊かでたくましく生きる湖二っ子の育成

東近江市 三方よしが実行できる子ども
・自分よし（自己実現） ・相手よし（思いやり） ・社会よし（社会貢献）

保護者の願い・地域の願い

【目指す学校像】
○子どもが主体的に活躍できる学校
○やさしさと温かい心が通い合う学校
○安全で安心な信頼される学校

子どもの実態・社会情勢

【目指す教職員像】—信頼される教職員—
○専門性と指導力をもつ教職員
・研修意欲をもち、自らを向上させる。
・一人ひとりを理解し、よさを引き出す。
・保護者、地域、関係機関との信頼関係の構築
○教育公務員としての自覚と責任をもつ
・不祥事の防止に向けた規範意識と危機管理意識の醸成
・社会人として、奉仕の精神や模範力をもつ。
○同僚性を生かした組織作り
・報・連・相を大切に、互いに支え合い、成長し、高め合っていく同僚性の高い組織を構築する。

【目指す子ども像】知・徳・体のバランスのとれた教育の推進
○学び合う子 : よく考え、正しく判断し、粘り強く学習する子ども
○認め合う子 : やさしさや思いやりをもち、自分も相手も大切にする子ども
○高め合う子 : 心身ともに健康でたくましく挑戦する子ども
【合言葉】 自分大好き 友だち大好き 学校大好き

教師の指導力の向上
○子ども目線にたち、子どものやる気を引き出す、わかる喜び・できる感動を実感できる授業改善や学級経営改善
○授業力、学級経営力、生徒指導対応力の向上
○研修の成果を報告し合える場の保障
○OJTを取り入れた日々の教育活動を通じた研修
○不祥事防止、メンタルヘルスケアのため、同僚性の高い組織作り
子どものやる気を引き出すアクションを起こす

【取組の重点と具体的な方策】

1. 確かな学力の定着

○登校後、教室で学習準備
15分間の湖二っ子タイムの充実
○話を聞く力の育成
(聞くトレーニングの実施)
○タブレットでのeライブラリーの活用
○読書の時間の継続
月曜日は朝読書 火曜日は読み聞かせ
(ポンぼんの会・委員会活動・教師)
○各学年のおすすめのブックリストの作成
(読む本の質や量を高める支援)
○家庭学習の定着
家庭学習強調週間を学期ごとに設定し、
家庭と連携して取り組む
○学習規律の徹底

2. 特別支援教育の充実

○全校体制で特別支援教育を進めるための特別支援教育推進委員会を実施
(月1回)
○ユニバーサルデザイン教育の充実
○個別の指導・支援計画を基にした個に応じた支援
○一人ひとりの教育的ニーズを把握した的確な指導・支援のための情報の共有(子どもを語る会・打合せ等)
○インクルーシブ教育の推進
○全教員が特別支援についての理解を深める。(研修)
○全校児童及び保護者への積極的な働きかけ(交流授業や啓発活動)を行い、障害児理解教育を推進

3. 豊かな心と生活

○いじめを絶対に許さない風土づくりと、未然防止・早期発見・早期対応のための体制づくり
○豊かな人間性や人間関係を築く力を培う
・毎月の「にこにこ週間」
・異学年交流と特別活動による主体的な児童の活動の推進
・仲間づくりの実践(「道徳」の学習の充実・SST/PAなどの実践と研修)
・教育相談(年3回)と日々の積極的な関わり
○ルールを守り、判断する力を培う
・学級目標やめあての学期ごとの振り返り
・「学校の決まり」を守る児童の主体的な活動
○保護者や関係機関等との緊密な連携 (SSW、SCとの連携)

4. 特色ある学校づくり

○ふるさと学習の充実
・「ふるさと学習」を継続し、自分のふるさとである湖東を愛する子どもを育てる
・豊かな地域資源(人・文化・歴史等)を活用した生活科・総合的な学習の充実、ふるさと学習発表会での成果の発表
・ピオトープを活用した環境学習
○地域学校協働本部事業を活用した地域ボランティアによる学習支援の推進
ふるさとを知り、伝え、そしてふるさとを大切にする子ども

5. 健やかな体づくり

○5ぎざの取組による生活習慣の改善と向上
○ゲーム、動画、SNSなどの正しい使い方など情報教育の推進と保護者への啓発
家庭を巻き込んだ取組、講師を招いての保護者への啓発
○体育的な行事と関連づけた運動技能の向上
5ぎざの早寝早起きができ、自律的にメディアを使うことができる子

【期待される子どもの姿】
自分の考えを持ち、仲間と高めていける子ども

自分や友だちの個性を知り、認め合える子ども、関わる子ども

相手の立場に立って行動できる子ども
ルールを守り、今すべきことを判断して行動できる子ども

